

CSC SWGを使用した遅延のトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[概要](#)

[期待](#)

[手順](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Secure Client(CSC)Secure Web Gateway(SWG)を使用して遅延をトラブルシューティングする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Secure Client(CSC)Secure Web Gateway(SWG)に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

概要

この記事の目的は、Cisco Secure Client(CSC)（以前のAnyConnect）Secure Web Gateway(SWG)を使用する際のスループットの期待値を定義することです。

期待

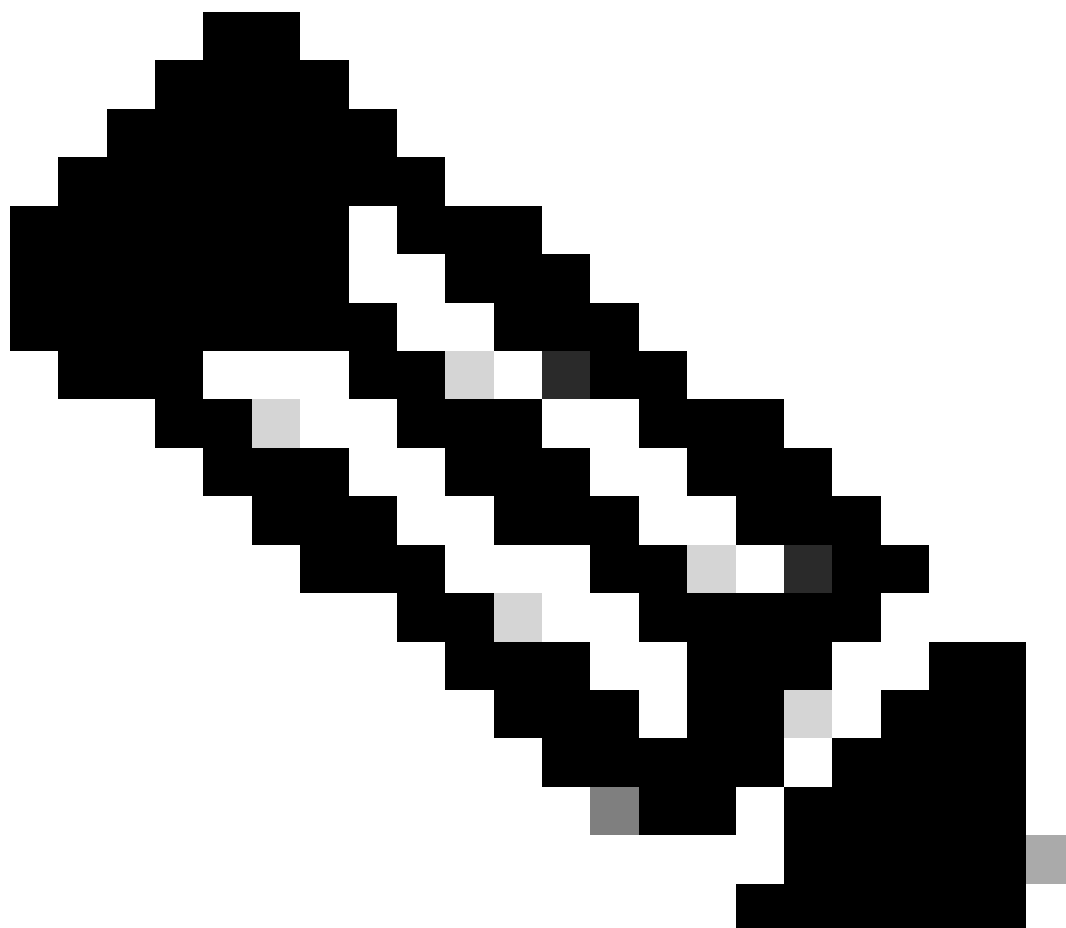
ほとんどの場合、Cisco Umbrella SWGの使用による目立った遅延はなく、Umbrellaのピアリング

関係は相殺され、Webエクスペリエンスが高速化されます。SWGのWebエクスペリエンスが受け入れられない場合は、Cisco Umbrellaサポートに連絡して、特定の問題の調査とトラブルシューティングを依頼してください。多くの要因が経験に影響を与える可能性があるため、Umbrellaの目的は、接続をトラブルシューティングする際に、パスのすべての部分を調査して、最適化できるかどうかを確認することです。

手順

Cisco Umbrellaサポートにお問い合わせください。Umbrellaでは、次のような詳細情報を要求できます。

- [SWG診断ツールからの出力](#)
 - [ポリシーデバッグ](#)
-



注：シスコは2023年にCisco AnyConnectのサポート終了を、2024年にUmbrellaローミングクライアントを発表しました。Cisco Umbrellaをご利用のお客様の多くは、すでにCisco Secure Clientへの移行のメリットを享受しています。より良いローミング環境を得

るために、できるだけ早く移行を開始することをお勧めします。ナレッジベース記事「[How do I install Cisco Secure Client with the Umbrella Module?](#)」の詳細を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。